

令和4年度事業計画

コロナ禍でシルバー人材センター事業においても、厳しい状況が続いています。一方、高年齢者に臨時的・短期的又は軽易な就業機会を提供することだけでなく、地域社会の日常生活に密着した働き方と地域社会の活性化を図ることが非常に重要とされています。

全国シルバー人材センター事業協会より、第二次会員100万人達成運動を展開する中、令和4年度は会員拡大数値目標をコロナ前(令和元年度)水準の会員数とする他、安全就業、会員の健康管理の推進、デジタル社会への対応、高年齢者の介護分野への就業推進による地域活性化などが示されました。また、2023年10月から導入される予定のインボイス制度(適格請求書等保存方式)の対応について検討がなされているところです。

このような状況下、当センターにおいては新型コロナウイルス感染症の動向に留意しながらウィズコロナを見据え、受託事業収益予算額は対前年度比8,579千円増額、労働者派遣事業等収益は前年同額とし、受取会費については会員数の減少により40千円減額の見込みとなりました。補助金については、昨年度に引き続き加茂市と国から同額が交付されることになり、経常収益は8,539千円増額の215,771千円の予算となりました。

今年度も引き続き会員拡大を最重点課題とし「ひとり1会員入会運動」を推進するとともに、新たな就業先の開拓に努め、ひとりでも多くの会員皆さまの就業に結び付くよう努力してまいります。

新型コロナウイルス感染症の収束が見込めない中、会員皆さまの健康と安全就業を第一に考え、以下のとおり事業計画を定め事業を展開してまいります。

基本方針

- 1 会員の加入促進を図る
- 2 就業先の開拓を図る
- 3 安全・適正就業に関する基準の遵守と徹底を図る
- 4 財源の確保と予算の効率的執行に努める
- 5 インボイス制度の導入に向けた対応を図る
- 6 組織活動を通して地域社会との連携を図る
- 7 女性会員の就業機会確保を図る
- 8 各種講習会の実施
- 9 会員交流事業の推進

事業実施計画

1 会員の加入促進を図る

コロナ禍の影響等で会員数が下げ止まらない状況であるが、コロナ前(令和元年度)水準の会員数を目標とし取り組む。

- (1) 目標達成に向け、引き続き全会員による「ひとり1会員入会運動」を展開する。
- (2) 市広報等により加入促進を図る。
- (3) 入会説明会及び各種講習会等において、広く一般市民にPRし加入促進を図る。

2 就業先の開拓を図る

- (1) 市と連携を図り、新規就業先の積極的な開拓を図る。
- (2) 広報等により広くシルバー事業の周知を図る。
- (3) 新潟県シルバー人材センター連合会と連携し、シルバー派遣事業を推進する。

3 安全・適正就業に関する基準の遵守と徹底を図る

- (1) 安全就業基準を遵守する。
- (2) 適正就業ガイドラインを遵守する。
- (3) 会員の健康促進を図るほか、事故防止の徹底を図る。
- (4) 引き続き新型コロナウイルス感染症予防等の徹底を図る。

4 財源の確保と予算の効率的執行に努める

センター事業の安定した運営を図るため、受託事業収益と補助金等の安定した確保を図る。予算の執行にあたっては経費の節約を図り効率的に事業を推進する。

5 インボイス制度の導入に向けた対応を図る

2023(令和5)年10月、インボイス制度(適格請求書等保存方式)が導入される予定である。(但し、経過措置として施行後3年間(2026年9月迄)は80%、その後3年間(2029年9月迄)は50%の仕入税額控除が可能。完全実施は2029年10月。)

インボイス制度導入の今後の動向について情報を提供する。

6 組織活動を通して地域社会との連携を図る

広く市民の要望に応えるため、センター役員等及び地区連絡員が積極的に活動を行う。

7 女性会員の就業機会確保を図る

- (1) 女性会員の幅広い分野での就業機会の拡大に努める。
- (2) 加茂女会の活動を積極的に支援する。

8 各種講習会等の実施

コロナ禍であるが、感染防止対策を十分に行い、実施可能な講習会・講座・研修会を実施し、後継者の育成を図るほか、広く市民の方々にも参加を促し、会員加入の促進を図る。

9 会員交流事業の推進

会員交流事業を開催するほか、各種サークル活動等を支援する。